

【低炭素社会と食の安全・安心を統合した 環境生命学的研究】研究発表会

—食料生産の持続性を担保する循環的な環境管理システムの構築—

事業 概要

資源供給の逼迫する現在、廃棄物を生産しない生産システム、食料生産をサポートできる廃棄物処理という新しい視点で、環境と食糧に関する諸問題を解決するレギュラトリー型リサーチを進める。

生物資源の持続的活用・流通・再生サイクルを基本とする低炭素・環境保全型社会システムの構築を目指して、以下の4テーマについて研究を実施。

- (1) 低炭素社会構築に向けた低エネルギー循環型農業の体系化
- (2) 生物資源活用のゼロ・エミッション化を目指した未利用生物資源と廃棄物資源の有効利用技術の開発
- (3) アジア地域を含めた低炭素・低エネルギー型の食料生産・流通システムの構築
- (4) 都市域と農林地を面的要素として組み込んだ山・川・海の連携を意識した環境保全

日時 平成26年12月8日 月

12:30~18:00

会場 岡山大学

創立五十周年記念館 大会議室

参加料 無料

プログラム

12:30~ ポスター展示

13:00~13:05 概要説明

13:05~14:00

- ・多肥多収性水稻品種は少肥条件下でも多収性を示す — 齊藤 邦行 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授 他
- ・植物病原細菌の病原力解析 — 一瀬 勇規 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授 他
- ・貯穀大害虫タバコシバムシを誘引する光の技術 — 宮竹 貴久 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
- ・振り子式水流発電Hydro-VENUSの開発 — 比江島 慎二 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授

14:00~14:55

- ・キノコによる木質バイオマスの高機能化 — 神崎 浩 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授 他
- ・植物の気孔開口を制御する化合物の探索 — 大熊 英治 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 非常勤研究員
- ・アブラヤシ殻の水蒸気ガス化による燃料ガスの製造 — アズハウッディン — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授

14:55~15:35 ポスターのコアタイム①

15:35~16:30

- ・家畜排せつ物利用による環境負荷低減・CO2削減 — 横溝 功 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
- ドイツのバイオガス・プラントを対象に—
- ・BDFを利用した畜産物の消費者評価 — 駄田井 久 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授
- ・タイの輸出向け野菜生産と地域社会—ナコンパトム県の事例— 生方 史数 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 他
- ・タイ・ベトナムの商品作物生産地における土地利用変化— 守田 秀則 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 他

16:30~17:25

- ・放置人工林からの表土流出に及ぼす保育施業の影響 — 嶋 一徹 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授
- ・海域における濁質粒子・栄養塩移動経路と藻場の保全 — 大久保 賢治 — 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授 他

17:25~18:00 ポスターのコアタイム②